

米は北海道の主力農産物であり、
その生産量は全国一である

現状

消費量の低迷
生産者価格の低迷

減反水田の拡大
地域農業の低迷

消費拡大のためには…

米の新たな用途開発が急務！

粒のままでは限界

粒ではなく利用しやすい粉体での利用が不可欠

現在の研究開発

小麦代替用途が
全国的なわらい

・新潟県の酵素処理製粉による微細米粉が先行
・米粉パンへの技術開発が集中的に展開

問題点

・米粉の特性と分類が明らかになっていない
・米粉独自の特性を利用した用途開発が行われていない
・米粉による新規需要開拓研究が不足している

北海道の
技術シーズ

独自製粉による
新規米粉

微細米粉の
大量供給システム

北海道農業
研究センター

シーズの活用

「北海道立食品加工研究センター」

多彩な用途開発技術の構築

技術開発の
ねらい

・特性の分類と最適用途の解明
・小麦代替ではない新規用途への利用技術の開発
・ブレンド技術による新規素材の開発

「道産米粉の分類」

・米粉の特性による分類
・既存米粉の用途の最適化

「新規食品用途」

・米の特性、特に物性を
活用した商品

「健康に配慮する用途」

・高齢者社会に向けた商品
・機能性を活用した商品

「米粉用途開発研究会」

各種食品製造企業

製粉関係企業

公的研究機関

物流関係企業

金融関係

・北海道米への新たな需要の開拓
・北海道米加工食品の高付加価値化
・生産から商品までの新たな仕組みの構築

北海道農業への貢献

北海道食品産業への貢献

北海道経済（地域経済）の活性化